

# 金融リテラシー調査25,000人データ による行動経済学的分析

金融広報中央委員会事務局企画役  
日本銀行情報サービス局金融知識普及グループ長

川村 憲章

# 金融リテラシー調査についての報道

## (国内)

- ・新聞(日経「長い老後への備え不十分」、産経、朝日、毎日、地方紙等)
- ・雑誌(週刊朝日「お金の県民性」、週刊エコノミスト、プレジデント、日経ビジネス、金融財政事情、金融ジャーナル、女性誌サンキュ等)
- ・テレビ(日本テレビ「お金のこと、どのくらい知ってますか？」  
<<http://www.news24.jp/articles/2016/09/26/07341999.html>>、テレビ朝日、TBS、地方局等)

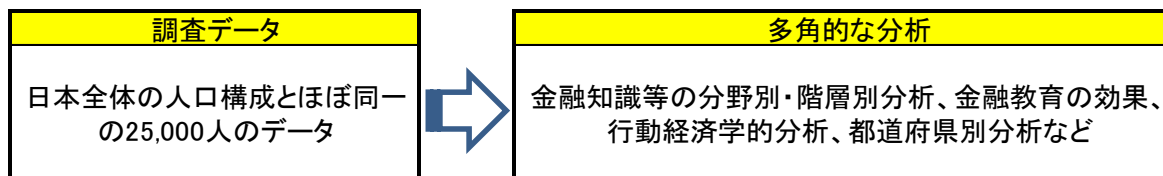
## (海外) 13か国、英語・中国語

- ・「Japan Inc. should coax wary investors」(Financial Times、英語)
- ・「Japan households still risk-shy despite heavy Bank of Japan easing: survey」(Reuter)
- ・「How a Landmark Japanese Study Will Boost Financial Education」  
(Time誌ライターDan Kadlec、英語)
- ・「Financial literacy key to boosting investment: public council survey」  
(Nikkei Asian Review、英語)
- ・「避险观念难改 日本仅有30%家庭投资股市」(友財、中国語)

# 金融リテラシー調査

- わが国初の大規模調査。
- わが国の金融リテラシーの座標軸である「金融リテラシー・マップ」の全分野から出題。
- 約半数の設問については、海外の調査と比較可能。

## ▽「ミニ・ジャパン」データによる多角的な分析



## ▽調査設問の構成

(問)

		設問数		金融知識・判断力		行動特性・考え方等		
			海外比較可		海外比較可		海外比較可	
・金融リテラシーの分野	家計管理	9	4	2	0	7	4	
	生活設計	9	6	2	1	7	5	
	金融知識	金融取引の基本	4	1	3	0	1	1
		金融・経済の基礎	7	6	6	5	1	1
		保険	5	0	4	0	1	0
		ローン・クレジット	5	3	3	2	2	1
	資産形成	7	3	3	2	4	1	
外部知見の活用	4	0	3	0	1	0		
その他	金融教育のニーズ、経験	3	3	0	0	3	3	
合計		53	26	26	10	27	16	

# 調査データの質と量

- 人口構成に合わせた25,000人規模の調査は世界で初めて。
- 70代についても、3,000人以上のサンプルを確保。

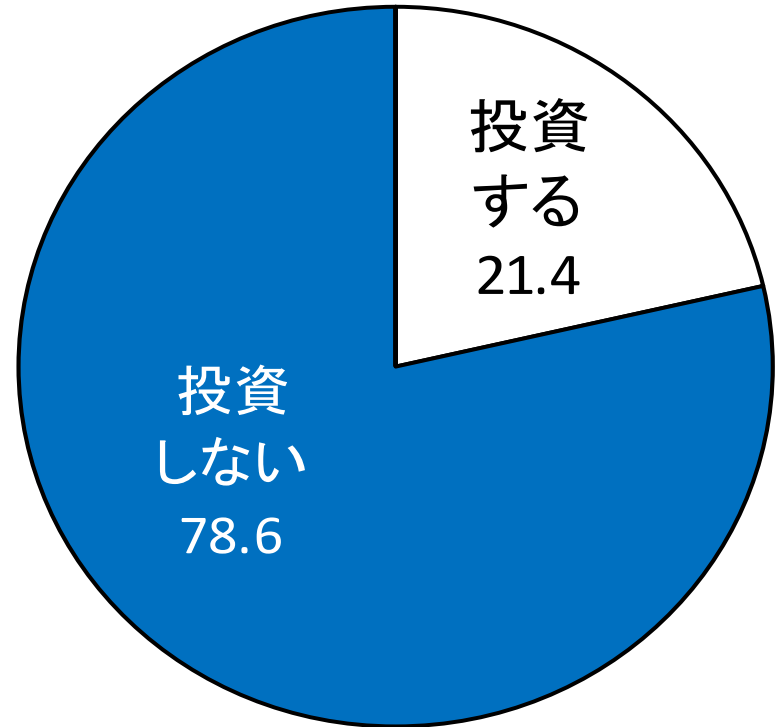
(人、%)

		本調査 標本数 (A)	本調査 構成比 (B)	国勢調査 構成比 (C)	国勢調査 対比 (B-C)
合計		25,000	100.0	100.0	0.0
性別	男性	12,334	49.3	49.3	0.0
	女性	12,666	50.7	50.7	▲ 0.0
年齢層別	18-29歳	4,026	16.1	16.1	0.0
	30歳代	4,570	18.3	18.3	▲ 0.0
	40歳代	4,248	17.0	17.0	▲ 0.0
	50歳代	4,163	16.7	16.6	0.0
	60歳代	4,849	19.4	18.7	0.7
	70歳代	3,144	12.6	13.3	▲ 0.7
都道府県別	東京都	2,619	10.5	10.5	▲ 0.0
	大阪府	1,737	6.9	6.9	▲ 0.0
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	鳥取県	112	0.4	0.4	0.0

## 損失回避傾向

- 期待収益率+5%の投資に対して、8割の人は「投資しない」と回答。損失回避傾向は総じて強い。

10万円を投資すると、半々の確率で2万円の値上がり益か、1万円の値下がり損のいずれかが発生するとします。あなたなら、どうしますか。



# 損失回避傾向

- 損失回避傾向は、女性の方が強い。
- 損失回避傾向が強い人を見ると、株・投資信託・外貨預金等への投資を控える人が多い。

▽損失回避傾向が強く、投資しない人の割合

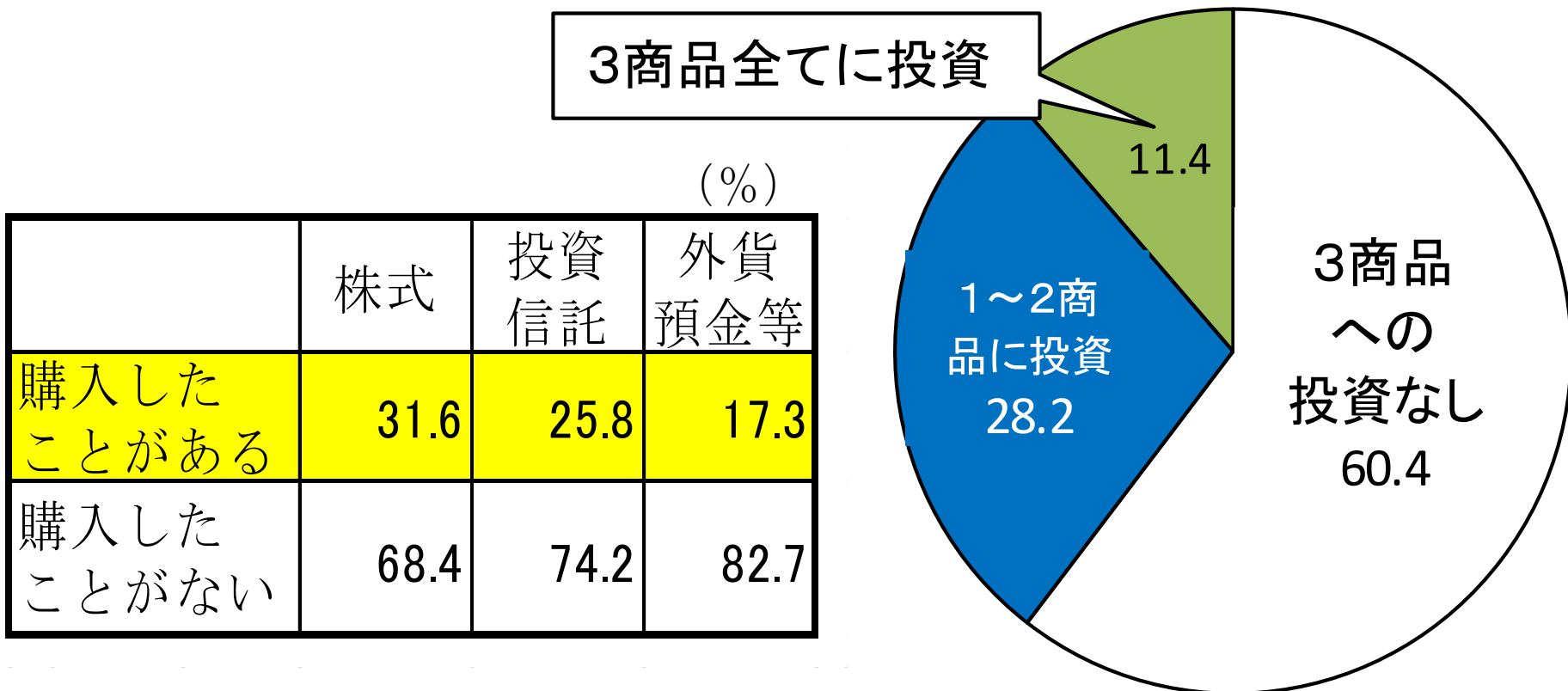
	男性	女性	合計
18-29歳	67.7	88.5	77.9
30歳代	64.6	88.7	76.5
40歳代	71.6	89.5	80.4
50歳代	72.4	88.6	80.5
60歳代	73.2	86.2	80.1
70歳代	67.5	82.8	75.5
合計	69.5	87.5	78.6

(%)

	正答率	株式に投資している人の割合	金融トラブル経験者の割合	消費者ローンを借りている人の割合	お金を借り過ぎていたり感じている人の割合
全回答者	55.6	31.6	5.9	3.9	11.4
損失回避傾向が強い人	52.8	24.0	5.3	3.5	10.7

# 株式・投資信託・外貨預金等への投資

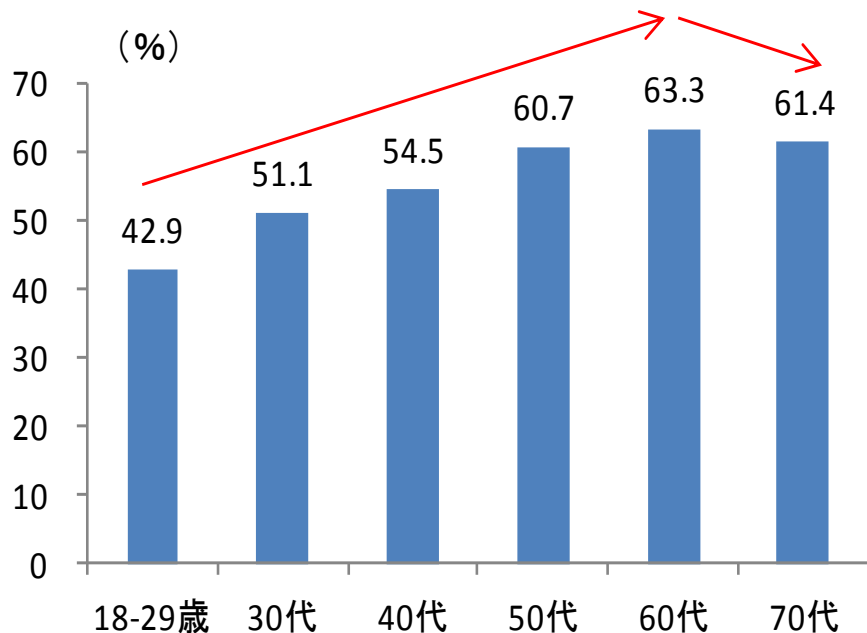
- 株式や投資信託などリスク性資産を購入したことがあるとの回答は、2～3割程度。
- リスク性資産のいずれにも投資しない人が6割。



# 正誤問題の正答率

- 年齢が上がるとともに、正答率は上昇する傾向（70代で若干低下）。
- 金融取引の経験を積んだ人の方が正答率は高い。

▽年齢層別の正答率



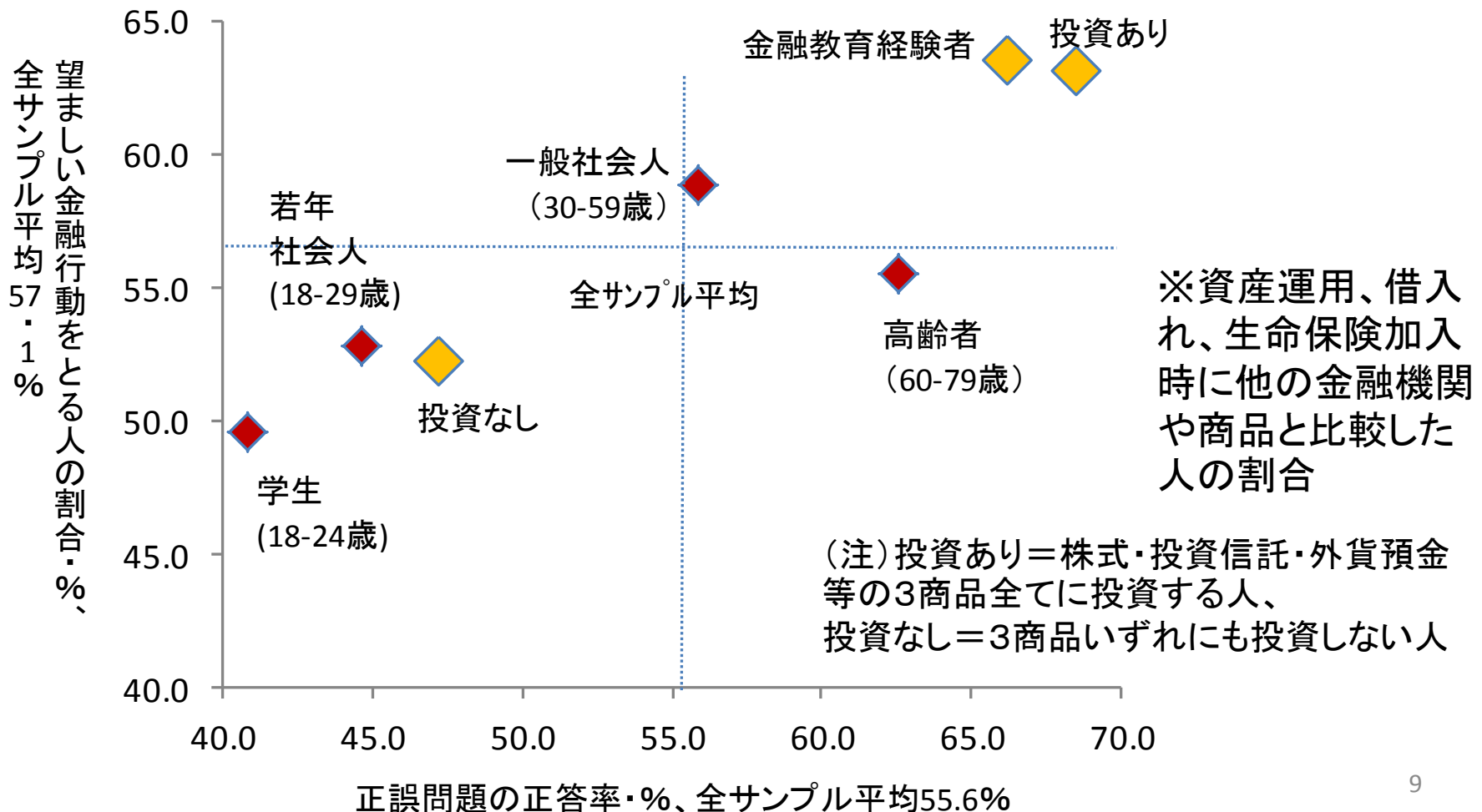
▽金融取引経験の効果

	全回答者 正答率		金融取引 経験の 効果 (B-A)
	(A)	経験者 正答率 (B)	
資産運用	54.3	73.6	19.3
住宅ローン	59.7	69.6	9.9
生命保険	52.5	57.4	4.9



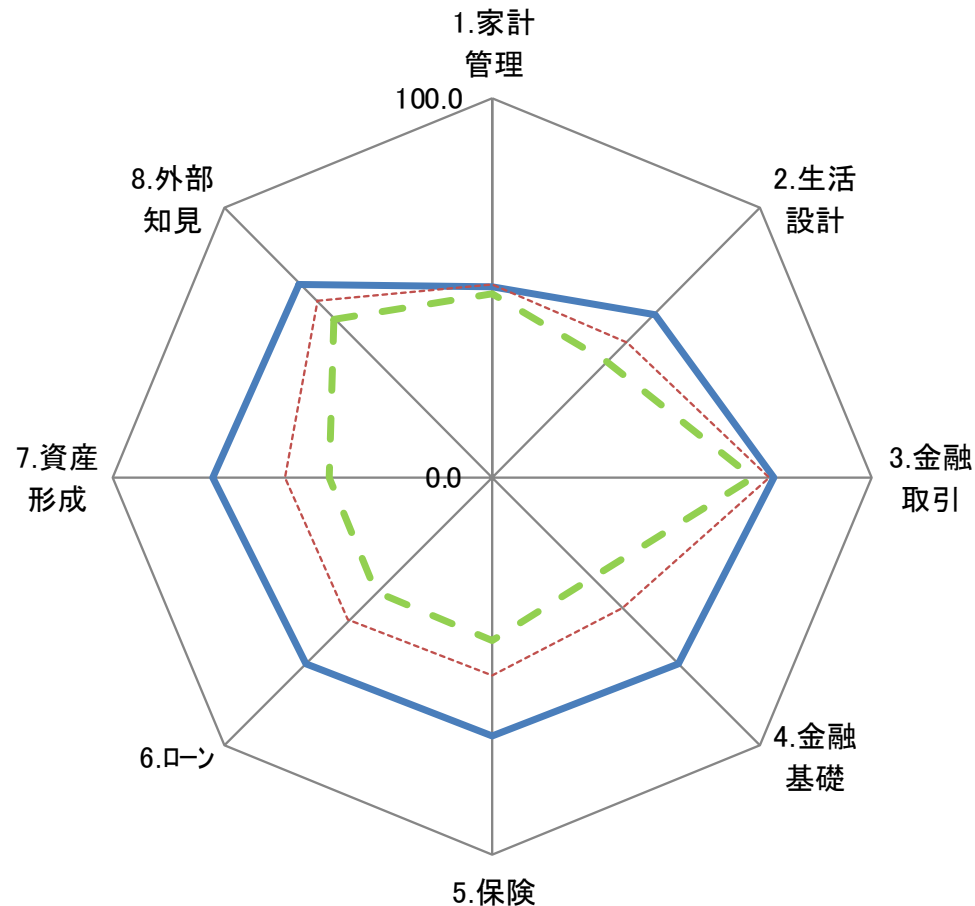
# 金融知識と行動特性の関係

- 株式等に投資している人は、①正答率、②望ましい金融行動をとる人の割合(※)がともに高い。



# 株式等に投資する人、投資しない人の正答率

➤ 株式等に投資している人は、正答率が高い。



— 株式・投資信託・外貨預金等の3商品全てに投資する人(正答率68.5%、構成比11.4%)

- - 株式・投資信託・外貨預金等の3商品いずれにも投資しない人(正答率47.2%、構成比60.4%)

..... 全サンプル(正答率55.6%、構成比100.0%)

# 株式等に投資する人、投資しない人の特徴

- 投資していない人は、投資している人に比べて正答率が低く、損失回避傾向が強い。

(%)

	全サンプル	株式・投信・ 外貨預金等 全てに投資 している人 〈Q34〉	株式・投信・ 外貨預金等 全てに投資 していない人 〈Q34〉
正答率〈25問〉	55.6	68.5	47.2
資産形成関連	54.3	73.5	42.9
リスク・リターン 〈Q21-3〉	74.8	86.4	65.8
分散効果 〈Q21-4〉	45.8	69.8	32.1
預金保険 〈Q33〉	42.3	64.2	30.8
損失回避傾向が強い人の 割合〈Q6〉	78.6	50.9	89.1
学校等で金融教育を受け た人の割合〈Q39〉	6.6	15.3	4.2

## 投資しない人の特徴

- 投資しない人は、女性、若年層に相対的に多い。

(%)

	全サンプル	3商品全てに 投資している 人	1～2商品に 投資している 人	3商品全てに 投資していない 人
<サンプル数>	<25,000人>	<2,852人>	<7,042人>	<15,106人>
全体	100.0	11.4	28.2	60.4
男性	100.0	14.2	31.4	54.5
女性	100.0	8.7	25.0	66.2
18～29歳	100.0	4.9	10.9	84.2
30～59歳	100.0	10.8	25.8	63.5
60～79歳	100.0	15.7	40.8	43.5

## 近視眼的行動バイアス

➤ 下記の質問で(1)を選択する人の方が多い。

お金を必ずもらえるとの前提で、(1) 今10万円をもらう、(2) 1年後に11万円をもらう、という2つの選択があれば、(1)を選ぶ。

(%)

1	2	3	4	5
あてはまる	←	どちらとも いけない	→	あてはま らない
30.8	16.3	17.8	12.9	22.2

# 近視眼的行動バイアス

- 近視眼的行動バイアスは、高齢層や男性で強い。
- 近視眼的行動バイアスが強い人では、金融トラブルが多く発生しており、借り過ぎと感じている人が多い。

▽近視眼的行動バイアスが強い人の割合

	男性	女性	合計
18-29歳	41.4	42.8	42.1
30歳代	41.6	37.7	39.7
40歳代	45.7	38.7	42.2
50歳代	53.5	44.8	49.1
60歳代	59.6	49.4	54.2
70歳代	62.1	53.1	57.4
合計	50.1	44.2	47.1

(%)

	正答率	株式に投資している人の割合	金融トラブル経験者の割合	消費者ローンを借りている人の割合	お金を借り過ぎていたり感じている人の割合
全回答者	55.6	31.6	5.9	3.9	11.4
近視眼的行動バイアスが強い人	56.7	33.3	7.0	5.8	15.6

## 横並び行動バイアス

- 15.0%の人が該当すると回答。

類似する商品が複数あるとき、自分が「良い」と思ったものよりも、「これが一番売れています」と勧められたものを買うことが多い。

(%)

1	2	3	4	5
あてはまる	←	どちらとも いえない	→	あてはま らない
3.7	11.3	43.4	22.9	18.7

# 横並び行動バイアス

- 横並び行動バイアスは、若年層や女性で強い。
- 横並び行動バイアスが強い人では、金融トラブルが多く発生しており、借り過ぎと感じている人が多い。

▽横並び行動バイアスが強い人の割合

	男性	女性	合計
18-29歳	18.6	19.9	19.2
30歳代	14.9	19.4	17.1
40歳代	13.3	17.6	15.4
50歳代	12.4	15.6	14.0
60歳代	10.2	13.2	11.8
70歳代	11.4	12.8	12.1
合計	13.5	16.4	15.0

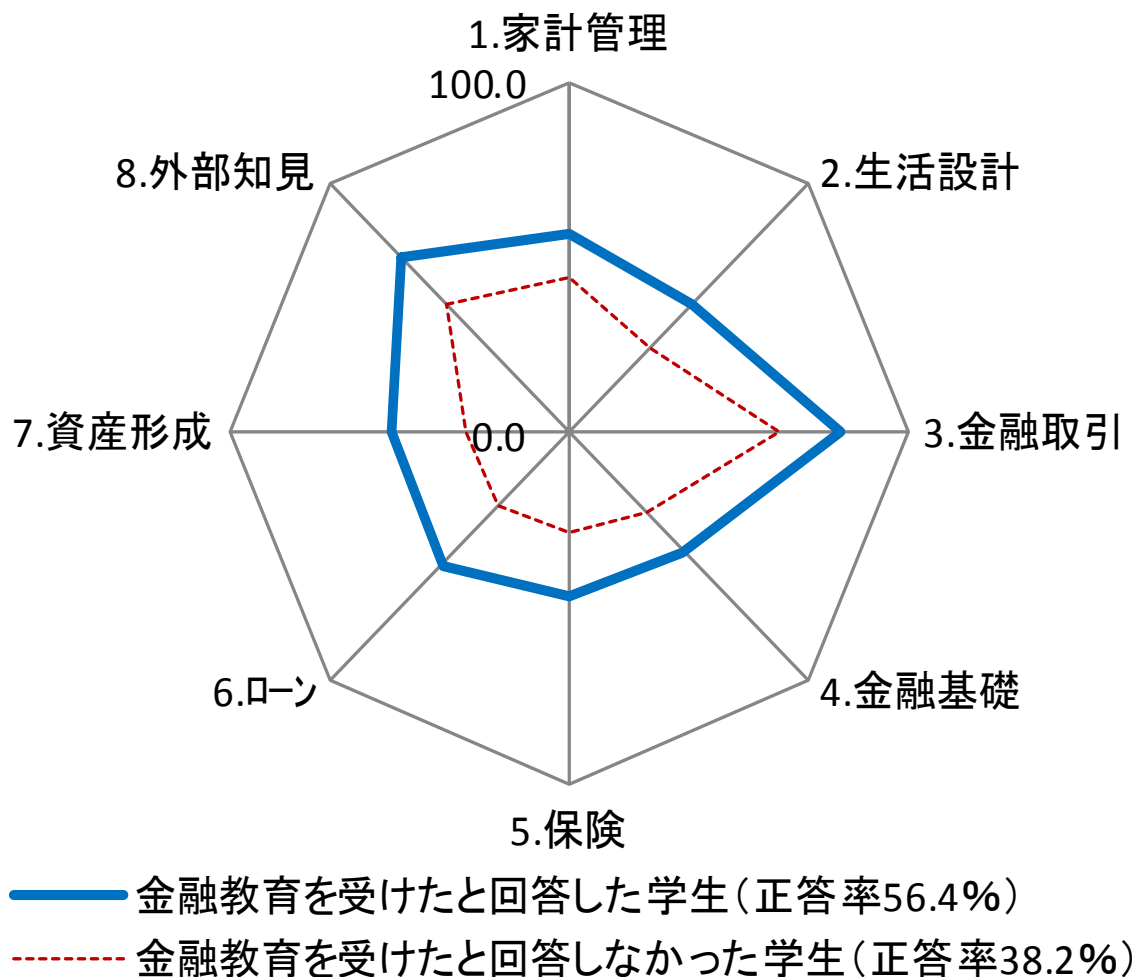
(%)

	正答率	株式に投資している人の割合	金融トラブル経験者の割合	消費者ローンを借りている人の割合	お金を借り過ぎていたり感じている人の割合
全回答者	55.6	31.6	5.9	3.9	11.4
横並び行動バイアスが強い人	48.6	34.6	7.0	4.3	18.2



# 金融教育の効果

- 「金融教育を受けた」と回答した学生の正答率(56.4%)は、そうでない学生の正答率(38.2%)よりも高く、全年齢層平均(55.6%)をも上回っている。



# 金融教育の効果

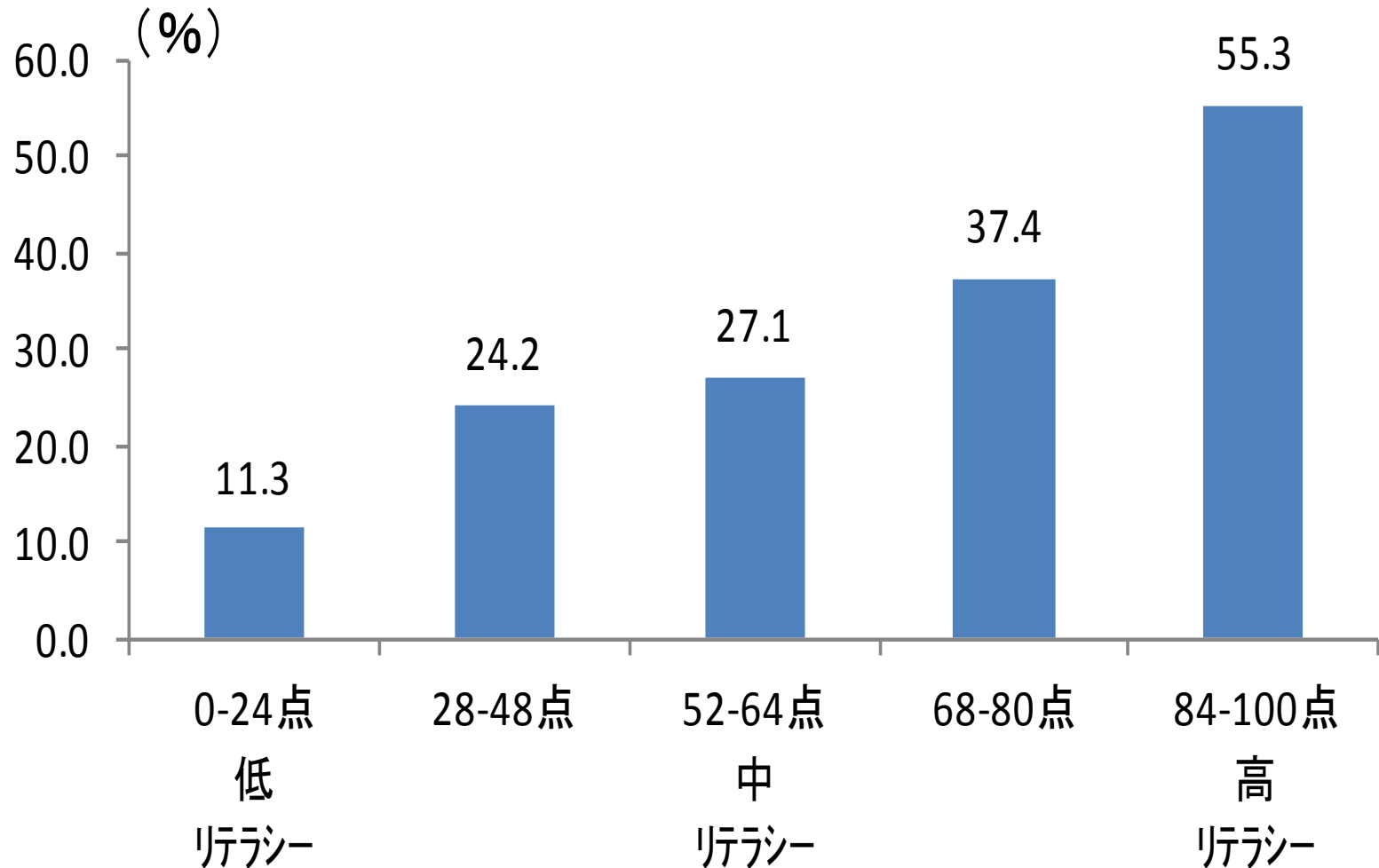
- 金融教育を受けた人は、①正答率が高い、②望ましい金融行動をとる割合が高い、③損失回避傾向が相対的に弱い、④株式を購入したことがある人が多い。

(%)

(回答者25,000人における構成比)	金融教育 経験者 (7%) (A)	左記 以外 (93%) (B)	差異 (A-B)
正答率<25問計>	66.2	54.9	11.3
金融商品購入時に他の商品と比較した人の割合	63.6	56.4	7.1
損失回避傾向が強い人の割合	64.3	79.7	▲ 15.4
株式を購入したことがある人の割合	52.3	30.2	22.1

# 株式に投資している人の割合

➤ 正答率が高い人は、株式への投資が多い。



# 知るぽるとホームページ

## ➤ 金融リテラシー調査

日本語版

<https://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/literacy2016/pdf/16literacy.pdf>

英語版

<http://www.shiruporuto.jp/e/survey/kinyulite/pdf/16kinyulite.pdf>

## ➤ 金融リテラシークイズ

[http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/literacy\\_quiz/](http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/literacy_quiz/)

※金融リテラシー調査の5つの設問から構成されるミニ・テスト。所要時間は2～3分程度。

- (1) 自分の得点を、全国、年齢層別、性別、都道府県別の平均点と比較でき、自身の金融リテラシーのレベルを確認できる。
- (2) また、誤答になった設問の金融リテラシー・マップ上の分類をみて、自分が弱い分野を確認できる。